

「飯田市平和祈念館を考える会」ニュースNo.11 2024. 7. 7

代表；唐沢慶治 連絡先；0265-26-9204

7回目となる連続学習会が、6月16日（月）午後1時半より飯田市松尾公民館2階講座室でありました。今回は、松村高夫さん（慶應大学名誉教授）の講義をお聞きし、演題は「731部隊はどこまで解明されているか そして 731部隊問題の本質は何か」でした（参加者73名）。

講義の内容は、次の4点に分けられていました。

まず第1に、731部隊の2つの目的とは何か？

それは細菌兵器とワクチンの開発である。日本人の若手・中堅の医師が石井四郎部隊長の指揮のもと、少なくとも3000人の中国人などを人体実験の対象にしながら、細菌兵器とワクチンの研究と開発、そして製造に取り組んだ。

第2に、人体実験のマルタはどのようにして集められたか？

日本の中国侵略に対して抵抗した、あるいは抵抗したとみなした中国人などを日本人憲兵が捕らえ、731に送り込んだ。監獄に着くと彼らは氏名を奪われ、マルタ（丸太）と呼ばれた。

第3に、細菌兵器としてペスト感染蚤（PX）の発明

ペスト菌は日本軍機から投下すると地上に着くまでに死滅してしまう。ではどうするか？「ペスト感染蚤」（PXという）を空中から穀物といっしょに散布すると、地上のネズミ類がその穀物を食べにくる⇒ネズミがペスト菌に感染する⇒人間がペストに感染する⇒ペスト患者が拡大していく（黒死病と呼ばれる）。

第4に、731部隊員の帰国と幹部医師の日本医学会への復権

1945年8月9日ソ連軍がソ満国境を越えて南下すると、陸軍中央は石井四郎に対し、731部隊の建物を破壊し、人体実験関連の標本や書類を焼却するよう証拠隠滅を命じた。建物はダイナマイトで爆破され、マルタ約400人はガスで殺された。そして中庭で焼かれ、残った灰と骨は松花江に投棄された。

部隊員とその家族は、部隊引込み線を使って満鉄の特別列車で朝鮮半島を南下し、釜山に着いた。石井

四郎は部隊員らに向かって「731部隊の秘密は墓場まで持っていけ。公職に就いてはならない。隊員間で相互に連絡をしてはならない。」と訓示を言い渡し、部隊は解散した。

731部隊の幹部医師たちは、金沢でプレハブを建て仮本部として、1ヶ月ほど滞在した。そこで、戦犯免責を得るにはどうすればよいか、医学界にどう復帰していくか、作戦を練ったらしい。



松村高夫さん



最後に、飯田市はこれまでも地方史研究の重要地点として評価されている。731部隊の問題でも一冊の書籍にまとめ、全国に、世界に発信することを強く期待する、と松村先生は述べて講演を締めくくられました。

講演を聴いた参加者の感想の一部を紹介します。

○731については勉強しているつもりでしたが、現地へ何回も足を運んでいらっしゃるということもあり、内容が濃く、初めて聞く話が多かったです。また、講演を聞いているのにドキュメンタリーを見ているような緊張感が伝わってきました。



○松村先生の貴重な生のお話が聞けて大変有意義な会でした。

日本でGHQによって隠蔽されたり歪められた歴史にもっとスポットをあてて学習し、真の日本近代史を勉強したいと思いました。大変骨太で行動力のある先生で感動しました。

○5年前にハルビンの731部隊の記念館を見学して来ました。平和祈念館の掲示についてはいつも関心をもって見ております。なぜ、掲示ができないのか残念に思っておりました。教育委員会がなぜ認めないのか分かりません。今日の先生の講演は、詳細な解明されたものをお話くださりよくわかりました。

○ワクチン開発など今まで聞いたこともない内容で、本日の講演会に来てよかったと思いました。コロナワクチンについても、政府がアメリカのファイザー社のものばかり国民にすすめるのはおかしいとずっと思っていました。あとがきに書かれています、日本の哲学・思想界の根底は何か重大な欠落があるのではないかと。ここに全く同感します。

飯田市は地域史研究所の重要地点として良き伝統があると書いてくださっていますが、このよい伝統の継続に非常に危機感を持っています、市の方針に危機感を持っています。

清水英男さん、ハルビン 731 部隊跡地訪問へ

今年7月8日に94歳になられる清水さんが、1945年帰郷以来の731部隊跡地に立つことを決意されて、8月12～15日の予定で中国を訪問されます。下の写真の竹上勝利さん（左側）、伊壺一輝さん（右側）も同行します。また、大阪保険医協会の医師約20人、原文夫さん（保険医協会元事務局）、報道関係者も同行する予定です。また、731部隊跡地に開設されている「侵華日軍第七三一部隊罪証陳列館」館長さんからの招待状が清水さんに来ています。

この取り組みに対して支援募金をお願いしたところ、7月4日現在の募金額が752,886円となり、目標額に達しました（講演会々場では101,896円集まりました）。

ご協力、ありがとうございました。

高齢の清水さんにとっては大変な取り組みですが、再び731部隊の跡地に立つことを無事達成して元気に帰ってきていただくことを願うばかりです。

